



ブラジル岩手県人会 第61回定期総会・新年会 61ª Assembléia Geral Ordinária Iwate kenjinkai do Brasil-Festa de ano novo



定期総会 2020年1月26日(日曜)、定刻午前11時から県人会創立となる61回目の定期総会、引き続き新年会が行われ60名が祝った。



総会は出席者25名ではじめ、2019年度事業報告、会計報告が行われた。会計報告では収入 186.881,62 支出 199.063,91 で、赤字決算 R\$12.000 余は2年分の家屋免税

(IPTU) 手続きで不備があり2年分を分割10回で支払中、決済後は免除手続きで返還される事を説明し意義なく承認された。

続いて2020年度事業計画、予算案は収支19万3千レアルが承認された。役員会からの提案で3年間据置いた会費を10%調整しR\$110,00とする事が承認された。

新年会までの間に、千田会長から創立60周年を記念して発行を予定している記念誌「仮題 岩手県人会のあゆみ」の進行状況が説明された。

新年会 続いて「新年会(仕出)」が行われる頃には60名が参加。千田会長から改めて新年の挨拶。次いで山田康夫(滋賀県)県連会長の挨拶。乾杯は藤村光夫相談役の音頭で乾杯した。

新しい年の門出を祝うと共に。会員同士の親睦交流が繰り広げられた。毎回集会の度にアチバイアの及川君雄氏から沢山の「バラの花束」が皆さんに配られた。(写真左車椅子の及川さん)。及川さんは孫カイオさんの他に新しく息子のセルソさん(写真

右下)を会員に誘って下さった。



写真 新年会風景



故高橋凡児さん家族やセシリアさん



家族で参加の昆野さん一家など



藤村光夫相談役の音頭で乾杯



懇談する皆さん



昔の女子青年？皆さんの音頭



田口；平野両副会長と田口さんの姉と従妹の照子さん



新しい年に次世代の会を託して若者がケーキカット



ジュリアさんを先頭に踊る女性群

年末恒例の餅搗き

Bolo de arroz Moti

12月14日(土) 餅米100キロを大勢で搗き、予想以上に注文が多くお陰で完売できた。

まず、前日夕米を洗い一晩水に浸しておき、14日早朝から餅米を蒸し(新米であるため通常より早く蒸された)手頃を見計らって餅つき機で殆ど粒が亡くなるまで回す。白に移し粘りを付けるため杵で搗いた。若い男女に餅搗を体験して頂いた。

搗き終わったら餅きり機で大きさを統一、その後片栗粉を付け体裁の良い形に仕上げる。一時乾かしてから500gづつ計

り袋詰めと中々手のかかる作業です。

お陰様でお年寄りから子供まで30人程がお手伝い感謝申し上げます。「餅を求めた方々から、後日お餅が美味しかった良く出来ていたと評を頂いた」



皆さんお疲れさまでした。

Muito Obrigado



Aula de Japones
県人会の日本語教室
は毎週土曜日の
午後行っております。
Contato p/Washington
Cel : 98193 - 8203

岩手県人会サイト [www ; iwate.org.br](http://www.iwate.org.br)

ご覧ください

e-mail iwate@iwate.org.br

ご連絡、ご要望などご利用下さい

2020 年度会費改正のお知らせ Alteração da Anuidade 2020

去る 1 月の定期総会で 3 年据置いた「年会費」を、調整させて頂き年額「R\$ 110,00」とさせて頂きました。

**Assembléia geral ordinária de janeiro passado,
foi ajustada a Anuidade para R \$ 110,00 por ano.**

県人会記念誌の発行についての状況

記念誌「あゆみ(仮題)」は、県人会創立 60 周年、県人移住 100 周年(2018 年)を、契機に県人会の歴史を網羅した本にしたいと資料集めを行いました。

会を支えた先人及び執行役員はじめ、会員及びご家族皆さんに県民同胞として応援して頂いた岩手県や県民皆さん、郷土の賛助会員の会(会長 吉田恭子さん)初め、親しく交流頂いた皆さんへの資料として発案され実行しつつあります。

今後残り少なくなった県人移住者や名簿編(日本語・ポ語)など様々な資料から、今後次世代の方々に岩手県人会を継承して頂く為にも後世に伝えたいと思います。

また名簿編では CD にも記録し、それぞれ子孫の方々がパソコンで記録された他に追加され、各自のルーツを追加して頂きたいと願っております。

現在やっと初稿として印刷所にて構成などとページ数など、予算をお願いしている段階です。

岩手カラオケ愛好会が忘年会

12 月 16 日「岩手カラオケ愛好会(高令者が殆ど)の練習後、忘年会が開かれた。同会は愛好者が入れ替わりながら、毎週 30 年近く好きな歌の練習や交流を楽しんでいる。

尚、音響世話係は会員の児玉勲さんが長年頑張っている。お疲れ様でした。来る 2020 年も宜しくお願い致します。



多田マウロ家族・県国際室を訪問

11 月 25 日、マウロ君が奥さんのエミリアさん、次男のイサオ君で、吉田恭子さん(ブ県人会賛助会会長)の案内にて、県国際室を訪問。マウロ君は県人会活動やブラジル事情について皆さんと親しく懇談した。



吉田会長さん(写真奥 正面)の報では、その後、開成パシオンで一休み。お昼の会食は、八重樫さん(2016 年の研修生)の研修先「和久」で、参加は 3 人の他川村みきさん、県の澤田研修監、高橋満男さん、清水夫妻と私でした。

会食の最後にお店の大将から、八重樫さんの優れた日本語と研修ぶりをおほめにあずかり、マウロさんも面目躍如でした。

澤田さんには、是非来年の南米出張を勧めてお開きとなりました。多田さん一行は昨日は、山田から戻り藤村克己さんの墓参りを済ましたそうです。故克己さんの妹熊谷澄子さんの案内で、今日は実家と温泉へ出掛ける予定とのことでした。

息子のイサオ君は初の訪日で北海道から関西地方まで各地を案内した模様がフェイスブックに出ていた。

県人会事務所訪問者数 2019 年度 3,421 人
Visitantes Anuais de Kenjinkai 2019 e 3,421 pessoas

図書貸出、利用者数 2019 年度 4,926 冊 721 名
Empréstimo de livros, número de usuários
4.926 Livros e 721 Pessoas,

会費納入者名 Nome do pagador da taxa de associação

2019 年 11 月 菅原正芳(Masayoshi Sugawara)、渡辺誠一(Seiichi Watanabe)、和賀希耕(Kikou Waga)、中村佐藤洋子エレナ(Helena Youko Sato Nakamura)、

12 月 塚田野村良子(Yoshiko Nomura Tsukada)、野村なおみ(Naomy Nomura)、亀ヶ沢アメリア(Amelia Kamegasawa)、

川村益夫ネルソン(Nelson Masuo Kawamura)、平野稔(Minoru Hirano)、鈴田豊明(Toyoaki Suzuta)、寒河江義廣(2020 Yoshihiro Sagae)、

2020 年 1 月 清水はるみリーナ(Lina Harumi Shimizu)、阿部正司(Masashi Abe)、菊地義穂(Yoshio Kikuchi)、村松宏一(Kouiti Muramatsu)、

田口精基(Seiki Taguchi)、千田曠暁(Hiroaki Chida)、菊池透(Tooru Kikuchi)、高橋信男(Nobuo Takahashi)、野村なおみ(Naomy Nomura)、

塚田野村良子(Yoshiko Nomura Tsukada)、多田孝則マウロ(Mauro Takanori Tada)、多田登(Nobori Tada)、及川君雄(Kimio Oikawa)、

及川カイオ(Caio Oikawa)、及川とよしセルソ(Celso Toyoshi Oikawa)、谷口典子ルジア(Luzia Noriko Taniguchi)、

田鎖満(Mitsuru Takusari)、岡田ダニエル(Daniel Okada)、長野長勇(Tyoyu Nagano)、

山口セシリア(Cecilia Yamaguchi)、千葉直義(Naoyoshi Chiba)、

岩上ますみエリカ(Erica Iwakami)、岩上田口昌子(Masako Taguchi Iwakami)、

阿部貴司アイレス(Ayres Takashi Abe)、柏木成一(Seiichi Kashiwagi)、

大森みどり(Midori Oomori)、山道慶大(Yoshihiro Yamamichi)、

高橋久子(Hisako Takahashi)、福沢鉄男(Tetsuo Fkusawa)、

志賀光(Hikaru Shiga)、石川準二(Junji Ishikawa)、
2 月 手嶋多田良子(Yoshiko Tada Teshima)、手嶋おさむジョージ(Jorge Osamo Teshima)、

菊地義治(Yoshiharu Kikuchi)、和田司(Tsukasa Wada)、吉田みつ子(Mitsuko Yoshida)、

武田春男(Haruo Takeda)、永松通一(Michikazu Nagamatsu)、

久保和子(Kazujo Kubo)、唐沢ミチコイザウラ(Isaura M Karasawa)

3 月 大志田良子(Ryoko Oshida)、安武俊樹(Toshiki Yasutake) 以上 3 月 4 日まで

忘年会・70回会員交流誕生会

2019年度県費研修生 川村 カミラ みき さんの報告会



12月15日(日)、今年最後の県人会イベント忘年会を兼ねた、会員交流誕生会並びに、川村みきさんの研修報告会が正午から行われ、年末はそれぞれの他用があり参加者は40名ほどでしたが充実した催しだった。

大関照子さんの司会で開会で先亡者へ黙祷を捧げた。千田会長は過ぎ去った一年を振り返り、県人会活動が出来た事に感謝を述べた。バラ州ベレン県人会の山中正二会長の音頭で乾杯。山中氏の友人である元秋田県人会会長の石川さん、山田さん(滋賀県人会長)県連会長も特別参加し賑わった。



グラフィックデザイン、プロジェクトデザイン、また伝統工芸を学びま

みきさんの研修報告が行われ、岩手県工業技術センターで産業デザイン部で

した。

映像を使って様々な研修や人の交流、研修旅行など説明した。

報国で皆さんの気を引いたことは、工芸品(南部鉄器仕様・お椀)をデザインしプラスチックで型を作り、漆塗りされた作品はまるで鉄器のようであり、皆さんの注目を浴び



食事会も終わり、ビンゴが行われ楽しんだ。続いて9月から12月生まれの誕生会があった。

長く役員を務めた千葉直義さんなどの誕生を祝い、年初の総会・新年会での再会を誓った。



た報告であった。

山田県連会長はみきさんの報告に素晴らしい人材だと挨拶した。



ふるさと だより (18)

記事提供 岩手日報社 Iwate Nippo

震災の教訓 歌い継ぐ 佐野さん(釜石出身)、

CD制作へ資金募る 2019.11.08

釜石市出身で盛岡市在住の民謡歌手佐野よりこさんは7日、東日本大震災の教訓を伝える民謡CD制作のため、インターネットで資金を募るクラウドファンディングのプロジェクトを開始した。東日本大震災の津波で両親を亡くした経験から制作を決意し、復興庁の支援事業を活用。自ら作詞した替え歌も盛り込み、心の古里である民謡の形で思いを全国に伝える。

佐野さんは釜石市大町のラグビーワールドカップ(W杯)ファンゾーンで10月27日に開かれたイベントで、CDに収録予定の「釜石浜唄」など4曲を披露した。初めて音源化する「新相馬節」は、福島県の民謡である相馬節の替え歌として佐野さんが作詞。

「黒い波きたあの日をおもいヨ」から歌いだし、残された家族の悲しみと津波の恐ろしさを訴える。

CDには同曲のほか外山節や南部牛追唄、ボーナストラックとして南部木挽(こびき)唄のオーケストラアレンジ版など、県内各地の民謡13曲を収録し一般販売する予定。

クラウドファンディングは来年1月16日まで行い、一口5千円から。支援者には返礼品として完成したCDやミニライブ参加券などを贈る。支援サイトには記載の2次元コード(QRコード)からアクセスできる。

地元釜石市のイベントで民謡を披露する佐野よりこさん(県人会 追) 2018年8月ブラジル岩手県人会創立60周年祝典に参加された。



どっさり、雪かきなんの

きょう大雪 2019.12.07



7日は二十四節気の大雪(たいせつ)。本格的な冬が到来し、平地でも雪が降るときとさ

れる。6日の県内は西高東低の冬型の気圧配置で冷え込み、雪が降る所もあった。各地で住民が雪かきに追われ、列車の遅れも発生した。

西和賀町沢内太田の近藤昭夫さん(88)宅では、前夜からの降雪に加えて屋根の雪も玄関前に落ち、高く積み上がった。スコップで除雪に励んだ妻のチナさん(82)は「長く住んでいるので慣れっこだが、やはり大変。健康のための運動だと思って頑張る」と手に力を込めた。

盛岡地方気象台によると7日の県内は、気圧の谷や前線の影響で曇り、夜は雪や雨の降る所が多くなる見込みだ。

自宅前に積もった雪かきに精を出す近藤チナさん=6日、西和賀町沢内太田

本県産材など使用、

国立競技場が竣工式 五輪主会場 2019.12.16

2020年東京五輪・パラリンピックのメインスタジアムとして完成した国立競技場の竣工式が15日、開かれた。当初案の白紙撤回を経て、36カ月の工事を終えて誕生した「杜のスタジアム」が、関係者に披露された。本県産材などが使われたスタジアムは、木のぬくもりに包まれている。

日本の新たな聖地の完成を祝う式典には安倍晋三首相や橋本聖子五輪相、小池百合子東京都知事が出席。安倍首相は「整備計画を練り直し、アスリートを第一に、日本らしさを兼ね備えた競技場として、無事に完成を祝う日を迎えられた」とあいさつした。東京大会では開閉

会式と陸上のほか、五輪のサッカーの会場となる。

工事は大成建設などの共同企業体(JV)が担った。

2020年東京五輪・パラリンピックのメインスタジアムとして完成した国立競技場の竣工式=15日午前



馬コが初詣、新年彩るパレード

滝沢、息災願う 2020.01.03



滝沢市鶴飼外久保の鬼越蒼前(おにこしろうぜん)神社と南部盛岡チャグチャグ馬コ同好会(藤井照夫会長代行)は1日、同神社でチャグチャグ馬コ初詣を行った。馬たちの息災を願い、きらびやかな装束をまとった馬コが新年を彩った。

同同好会の滝沢、盛岡、矢巾の3支部から馬10頭が参加した。初詣は2002年から行い、今年で19回目。

(写真) 息災を願って神社前をパレードする馬コ

熱戦、苦戦、わんこもち 全国大会、

一関の男性80杯で連覇 2020.02.03

一関地方の餅文化をユニークに発信する第13回全国わんこもち大会(実行委主催)は2日、一関市大町のなのはなプラザで開かれた。県内外の大食い自慢が熱戦を繰り広げ、男性個人戦は同市花泉町の会社員岩淵恭史さん(35)が80杯で2連覇を果たした。

団体戦(2人一組)9チーム、男性個人戦10人、女性個人戦4人が出場。5分間の制限時間内にあんこ、ずんだ、しょうゆで味付けされた一口大の餅をいくつ食べられるか競った。参加者は会場の声援を受けながら、懸命に餅を食べた。



声援を受けながら懸命に餅を頬張る参加者

岩手県人会ユニフォーム204号、ふるさと便り (18) 併合 2020年3月発行

TEL/FAX (11) 3207-2383 www.iwate.org.br e-mail iwate@iwate.org.br

Rua Thomaz Gonzaga 95-M Liberdade São Paulo Brasil CEP 01506-020

ブラジル岩手県人会

Associação Cultural e Assistencial Iwate Kenjinkai do Brasil



高田松原、植樹完了へ

計4万本、7月にも 2020.03.01



再生に向けて約4万本の
植樹が進む高田松原
＝陸前高田市

東日本大震災の津波で流失した陸前高田市の高田松原の再生に向けた植樹は、震災から9年で完了が見えてきた。同市のNPO法人高田松原を守る会（鈴木善久理事長）と県などが計4万本を植樹する計画は、早ければ7月にも終わる見通し。同会は今年の台風19号による倒伏被害や、雑草に悩まされながら、全国からの参加者の支えで約1万本を植えてきた。犠牲者を悼み、地域の誇り「白砂青松」を未来につなぐ。

砂浜と巨大な防潮堤の間、冬特有の山越えの風を避ける囲いの中で、約3万本の松が順調に育つ。ほぼ整備が完了した第1線堤（海拔3・3メートル）と第2線堤（同12・5メートル）の間約8ヘクタールに同会と県が植えた松は3万本となった。

計4万本植える計画で、同会は1万本を担当。2017年から植樹祭を始め、全国各地から訪れたボランティアが活動を担った。

忘れられない 東日本大震災から9年

2011年3月11日

今年も東日本一帯を突然襲った大地震とそれに伴う津波により、沿岸一帯では大災害により多くの尊い命が失われ、町並みは殆ど全壊状態でした。

ブラジル国在住者はじめ、全世界の人々に見守れながら完全復興を願うと共に、改めて犠牲者への哀悼を祈ってやみません。

ブラジル岩手県人会 会員一同